

**英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業
廃止措置研究・人材育成等強化プログラム
事後評価総合所見**

研究課題名：福島第一原子力発電所の燃料デブリ分析・廃炉技術に関わる研究・人材育成
 研究代表者（研究機関名）：安濃田 良成（福井大学）
 再委託先研究責任者（研究機関名）：大石 佑治（大阪大学）
 再委託先研究責任者（研究機関名）：有馬 立身（九州大学）
 再委託先研究責任者（研究機関名）：中島 健（京都大学）
 再委託先研究責任者（研究機関名）：砂川 武義（福井工業大学）
 再委託先研究責任者（研究機関名）：宮丸 広幸（大阪府立大学）
 再委託先研究責任者（研究機関名）：峰原 英介→山岸 隆一郎
 （若狭湾エネルギー研究開発センター）
 再委託先研究責任者（研究機関名）：勝山 幸三（日本原子力研究開発機構）
 研究期間：平成27年度～令和元年度（5年計画） 246百万円

項 目	要 約
1. 研究の概要	<p>福井大学が中心となり西日本の大学や研究機関が連携し、福島第一原子力発電所（1F）廃炉現場のニーズを踏まえた「廃止措置技術」、「燃料デブリ分析」、「廃炉技術開発」に関する基盤研究を実施すると共に、それらをベースとした3コースの人材育成カリキュラムを構築し、1F廃炉における課題解決に貢献できる高い知識と社会貢献意識を持った広い専門分野の若手人材を継続的に育成することを目的として、以下の研究および人材育成を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 廃止措置技術研究 2) 燃料デブリ分析コース 3) 廃炉技術開発コース
2. 総合評価	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; background-color: #cccccc; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;">A</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成に関しては、福井大学が中心となり西日本の大学が連携する体制を構築した点や、現場から距離のある地域から東京電力など東日本の原子力関連企業に就職する等の成果が出ている点で評価できる。 ・研究面においては、模擬燃料デブリを用いて貴重な物性情報を取得しており、実デブリがサンプルされた際の分析に貢献することを期待したい。 ・事故炉だけでなく、原子力発電所を多く持つ福井県での特徴を活かし、本事業終了後も、一般炉の廃止措置も含む基礎、基盤工学の人材育成を継続的に進めて欲しい。 </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>S) 特筆すべき優れた成果があげられている</p> <p>A) 優れた成果があげられている</p> <p>B) 相応の成果があげられている</p> <p>C) 部分的な成果に留まっている</p> <p>D) 成果がほとんどあげられていない</p> </div>